

田 覧	会長	副会長	理 事			幹事	会計	会場監督
	小花		花	河	阿	花		
			長	村	那	日		
				昭	和	年	月	日



No.1.

1959	6月30日(木) 第3回例会報告	
出席者	会員 20人中 19人	他 ^{ゲスト 6人} _{ヒッター 3人} 計 28人
出席率	95%	(前回修正率 95.2%)
来 ^客 (ゲスト)	松木 俠君、今向 北太郎君、金井 勝助君、平田 貞君 笹原 広吉君、酒井 忠明君	
来 訪 者 (ヒッター)	(山形RC) 安齋 徹君(前会長) 鈴木 吉助君(理事長) 関口 勲君(次期会長)	
司 会	小花 盛雄 君	
報告及連絡	<p>① 350名ゲスト・カマナー 祝辞幸三君 送迎さす(表懐の意を表し謝儀)</p> <p>② 本会はスポンサークラブ(山形RC)より多数の来訪を得又此の度入会承認され又近(入会予定)の有カメンバー来訪を得ましたこと、今程ウクラブ 寄展の存に大きな感懐を感ず</p> <p>③ 只今山形RCより ローターの鐘の贈答を多々しましたか今後此の鐘を鳴らす毎に親睦と友情、そして必つウテストを及有(ローターの寄展を計り)如是に感懐を感ず</p> <p>④ 本日は幸ひ多数の有カなゲスト、ヒッターの来訪を得たこと十分に受取の付向に感懐を感ず</p>	
卓 話	<p>スピーカー (4人)</p> <p>松木 俠君 鶴岡は觀望のローター、クラブが誕生したことの感懐に表はしスポンサークラブの協賛と創会幹事の勞に敬意と感謝の意を表す、1週間1/度自分ウ付向を指すことと感懐の思ひ今度出席に努力しクラブの寄展につくす。</p>	

	<p><u>安齋 徹君</u> 此の度有力メンバーの再理解と再参加を得たこと御誠にあけい、羽越線沿線にクラブが、右と全和口+タリアンか感じていた淋しさと不備が解消されたことは大きな力である。是、今後の発展に祈る。</p>
	<p><u>鈴木 吉助君</u> 会長任期中に当地にクラブの設立を計るべし計画に飛ったが主眼に社生と見度管に堪えない用務の居十分を平任に出来なかつたが本任期中に面接出来たことである。今後の発展に祈る。</p>
	<p><u>関口 徹君</u> 入会までは早稲実業界有力者の社交クラブ位に考へて居たが入会して4年を経過し、道にその内容が判り、奉化の理想に生き、親睦の中に修養あり、権の道徳あり、責化あり、道に紳士中の紳士の集りであることが判った。出席等窮乏な一ルも会を重ねる毎に生活に比べ道が窮乏な一ルも有力メンバーもかゝる。是、今後の発展に祈る。</p>
<p>会員の声</p>	<p>会場監督池内君。① 各委員会研究会と持ち、支々の仕事り分担を明にしたり。 ② 会員の氏名札を作り、裏面に例会却るラテールNOと記し会場設備の便と計り度。</p>
<p>会員の慶憂</p>	<p>なし</p>
<p>入会、退会</p>	<p>退会 諏訪信一君 (用務の都合で退会)</p>

ニコニコ箱	なし
寄 贈	山形RCよりロ-タリー-の鐘 贈呈あり 鐘印紙一紙
前回のメモ	なし
その他	<p>① 本RCよりロ-タリー-の鐘使用</p> <p>② 各委員は支々の任務を速かに把握されクラブ活動に積極的に協力され</p> <p>③ カハナース、マンスリー、レターに依り350区内に最近設立されたるクラブ及チャーター伝達式ありたるクラブを誉表す。</p>